

**令和5年度
さかいで131おとめ隊
活動報告書**

令和6年3月18日

目次

1. 今年度の目標	3
2. 活動体制	3
3. 活動内容	4
<ul style="list-style-type: none">・ 令和5年度活動一覧・ 新規採用職員研修・ 避難所担当職員研修・ 令和5年度防災フェスタ「おとめ隊からの挑戦状！」・ 職場の備え選手権・ 防災アクト・ 広報活動・ 各種団体における講演・取材		
4. 成果・課題等	13
5. 来年度の目標	13

1. 今年度の目標

- ・これまでの活動の成果や課題を検証し、職員や市民に対しより効果的な普及・啓発を行う。
- ・おとめ隊の活動を通して、メンバー自身が楽しみながら学びを深め、坂出市職員全体の防災意識向上に努める。

2. 活動体制

第10期生 メンバー構成 ⇒ 3人交代

No.	担当	所属	氏名	備考
1	リーダー	健康福祉部ふくし課	田中 美統子	
2	サブリーダー	健康福祉部ふくし課	未澤 奈菜子	
3	〃	政策部秘書広報課	山田 愛莉	
4	メンバー	監査委員事務局	宮本 晶子	
5	〃	市民生活部人権課	山田 知恵	新規
6	〃	健康福祉部ふくし課	上乃 紀子	新規
7	〃	健康福祉部ふくし課	古川 美樹	
8	〃	健康福祉部けんこう課	小島 真衣	
9	〃	市立病院庶務課	三枝 梨奈	
10	〃	総務部総務課	小野 詩織	新規
11	〃	総務部危機管理課	松岡 未祥	事務局

3. 活動内容

令和5年度活動一覧

活動	日程	主な内容	備考
任命式 第1回会議	R5.5.2	・リーダー、サブリーダーの選出 ・活動方針や年次計画の決定	
新規メンバー研修	R5.5.23	・おとめ隊の活動について	リーダー・サブリーダー・新規メンバー
第2回会議	R5.5.24	・年度目標の決定 ・今年度の活動内容について ・新規採用職員研修について	
新規メンバー研修	R5.6.15	・香川県防災センター体験	
第3回会議	R5.6.20	・新規採用職員研修について	
第4回会議	R5.7.18	・新規採用職員研修について	
職員防災研修 (新規採用職員)	R5.7.24	・新規採用職員研修 市役所職員の備え	参加者：16名
第5回会議	R5.8.22	・新規採用職員研修について（反省） ・避難所担当職員研修について	
第6回会議	R5.9.19	・避難所担当職員研修について ・避難所運営ゲーム HUG	
第7回会議	R5.10.23	・避難所担当職員研修について	
職員防災研修 (避難所担当職員)	R5.11.8	・避難所担当職員研修 坂出市避難所運営マニュアルについて 避難所運営ゲーム HUG	参加者：22名
第8回会議	R5.11.20	・避難所担当職員研修について（反省） ・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	
第9回会議	R6.1.9	・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	
第10回会議	R6.1.22	・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	
防災フェスタ	R6.1.28	・体験型131（ぼうさい）ゲーム 「おとめ隊からの挑戦状！」	参加者：23名

おとめ隊の日	R6.1.31	・庁内放送 ・職場の備え選手権 結果発表	
防災アクト	R6.2	・地震発生時の参集について	
防災講演 (綾川町男女共同参画会議主催)	R5.2.18	・おとめ隊の活動について	
第 11 回会議	R5.2.20	・防災アクトについて（反省） ・令和 5 年度活動反省 ・次年度の課題検討	
防災訓練 (京町マンション自治会自主防災会)	R6.3.10	・「おとめ隊からの挑戦状！」	
防災講演 (香川県防災士会坂出宇多津ブロック)	R6.3.24	・おとめ隊の活動について	
市長報告	R5.3.18	・令和 5 年度活動報告	

新規採用職員研修（R5.7.24）

平成 28 年度から継続し、新規採用職員を対象に職員としての災害時における対応や職場における備えについて伝えることで、災害時の対応力の底上げを図ることを目的とし、研修を実施しました。令和 2 年度から取り入れたグループワークにおいては、活発な意見交換があり、自分に必要なものを考え、実際に備えることまでつなげることができました。

○ 対象

令和 5 年度新規採用職員（市立病院（庶務・医事課除く）・消防除く）

○ 内容

- ・南海トラフ地震について（坂出市の被害想定）
- ・坂出市における過去の台風および集中豪雨の対応
- ・実際の備えの紹介
- ・職員用 1 3 1（ぼうさい）カード（参集基準の確認）
- ・グループワーク（自分に必要な備えについて）



研修後のアンケートの一例

- ・災害発生時に職員として心構えが必要か考えるきっかけとなった。
- ・警報が解除されたら終わりではないこと、その後のことが具体的に知ることができた。

避難所担当職員研修（R5.11.8）

避難所運営マニュアルに基づき、大規模災害時の避難所について、避難所担当職員に周知することを目的として実施しました。今年度も昨年度同様、避難所運営ゲーム HUG の実践と組み合わせることで、より状況を想像しやすく、理解を深められました。

○ 対象

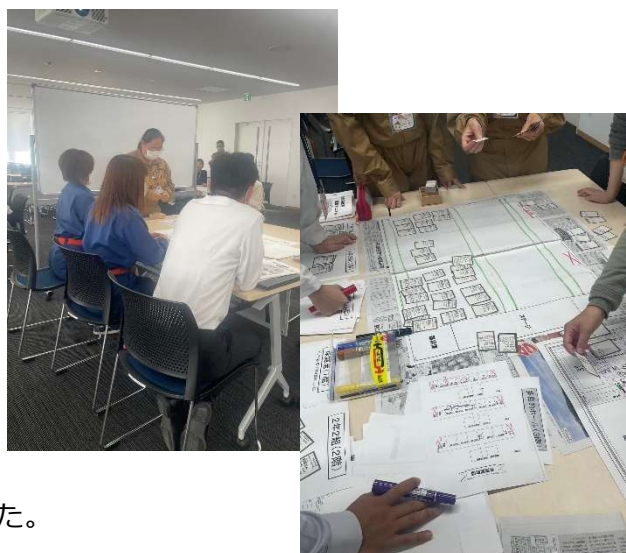
避難所担当課職員

○ 内容

- ・避難所運営における初動対応等の例
- ・避難所運営ゲーム HUG
- ・活動班ごとの説明
- ・振り返り（HUG の反省）

研修後のアンケートの一例

- ・災害が起きたときのシミュレーションができた。
- ・「もしも」のときに備えた、必要な研修だと感じた。



令和5年度 防災フェスタ

体験型131（ぼうさい）ゲーム「おとめ隊からの挑戦状！」

10回目となる防災フェスタを今年度は1月31日「おとめ隊の日」の直近の日曜日である28日に勤労福祉センターで開催しました。こどもから大人まで、幅広い世代の市民のかたにご参加いただき、楽しみながら防災について学んでいただけるイベントとなりました。今後も継続して開催したいと考えております。

- ・ 日 時：令和6年1月28日（日）10：00から12：00
- ・ 場 所：勤労福祉センター
- ・ 内 容：
 - 防災のお話
 - ゲーム
 - ・ シーン1：正しい避難行動クイズ
 - ・ シーン2：津波発生時の避難場所クイズ
 - ・ シーン3：新聞紙スリッパの作成&使用
 - ・ シーン4：災害用伝言ダイヤル
 - ・ シーン5：簡易トイレ
 - ・ シーン6：手洗いチェッカー
 - ゲーム解説



災害時に正しい行動がとれるかを試す体験型の防災ゲームをクリアして防災マスターを目指しましょう！

参加無料

おとめ隊からの挑戦状！

令和5年度 防災フェスタ

令和6年1月28日（日）

時間 10：00 - 12：00
(9：30より受付開始)

防災フェスタ めざせ！さかいで131マスター 体験型防災ゲーム おとめ隊からの挑戦状！

「おとめ隊からの挑戦状」は、災害があったときに正しい行動がとれるかを試す体験型の防災ゲームです。時間内に全ての挑戦をクリアしたかたには「さかいで131マスター」のバッジをプレゼントします！

友人の（保護者同伴）

「挑戦状！」参加の要と4電話番号を記載してはいけません！
メール：kikkanni@city.sakaide.lap.jp
本）9：00より受付開始
に達し次第締め切りますが、場合には主催者にて抽選を行います。

※ 坂出市職員有志による防災チーム

さかいで131おとめ隊



職場の備え選手権

おとめ隊では、市職員は業務中に被災するとそのまま災害対応にあたらなければならないといけな
いため、職場の備えが必要であることをこれまで繰り返し啓発してきました。そこで、職員を対象に
どのような備えをしているのかを募集し、今後よりいっそうの啓発に繋げていきたいと考え、「職場
の備え選手権」を開催しています。3回目となる今回は13名からの応募があり、どれも個性あふれる
備えがなされていました。その中から、おとめ隊が独断と偏見により大賞（備えマスターに任命）およ
び各部門受賞者の発表と啓発を兼ねてインフォメーションに掲載しました。

この選手権は啓発や年に1回の備えの実施や見直しの機会になると思うので、内容や応募方法を検
討しながら今後も継続していきたいと考えております。

結果発表資料

さかいては31かどめ隊
1月31日は
おとめ隊の日！

職場の備え選手権！

大賞者並びに各部門の 受賞者発表

みなさん、数々のご応募ありがとうございました！
前回の選手権と同様に、想像していた以上に個性があり、
やはりそれぞれ必要なもの、大事なものは違々と実感しました。
今後も継続して開催する予定ですので、是非ご参加ください！

それでは、次のページから
各賞の備えを紹介していきます！
ぜひ備えの参考にしてください！

大賞 (備えマスター)

備えの内容

防災食	手ぬぐい	衣類(下着・靴下など)	ドライヤー
おかし	緊急用品(絆創膏・消毒液など)	作業服(動きやすい服)	工具一式
懐中電灯	備用電源(モバイルバッテリー)	レインコート等	靴(歩きやすい靴)
モバイルバッテリー	ビニール袋・ポリ袋	紙幣	調味料
軍手	マスク	毛布・寝巻	ぬいぐるみ
カッターはさみ	紙製・コンタクトレンズ	筆記用品	
タオル	ペン/ノート	シャンプー	など

備えのこだわりポイント

自分はもちろん、みなさんの安全・安心も守ります！

おとめ隊からのコメント

「いつでも災害対応に集中できるように、自己完結できるものを備えました！」という言葉のとおり、さすがの備えでした。おとめ隊も見習いたいと思います！

意識高い課で賞 ふくし課

応募数や内容を見て決定しました。
おめでとうございます！

バランスが良いで賞

それぞれバランスよく
備えられていました！

防災ポーチ部門

備えの内容

懐中電灯	おかし
軍手	モバイルバッテリー
カッターはさみ	備用電源(モバイルバッテリー)
タオル	備用電源(モバイルバッテリー)
手ぬぐい	体温調整シート
緊急用品	防水シート
ビニール袋・ポリ袋	カトラリー
防災用ヘルメット	タオル
マスク	手ぬぐい
衛生用品	備用電源(モバイルバッテリー)
ヘアゴム・ヘアピン	携帯用トイレ
など	キャップオープナー

机(引き出し)部門

備えの内容

防災食	ビニール袋・ポリ袋
おかし	携帯用トイレ
懐中電灯	マスク
防災用ヘルメット	お灸
軍手	レインコート等
カッターはさみ	モバイルバッテリー
手ぬぐい	タオル
備用電源(モバイルバッテリー)	体温調整シート
携帯用トイレ	マスク
など	

ロッカー部門

備えの内容

懐中電灯	防災用ヘルメット
軍手	タオル
カッターはさみ	緊急用品(絆創膏・消毒液など)
タオル	備用電源(モバイルバッテリー)
手ぬぐい	備用電源(モバイルバッテリー)
緊急用品	レインコート等
ビニール袋・ポリ袋	モバイルバッテリー
防災用ヘルメット	タオル
マスク	体温調整シート
など	

自家用車部門

備えの内容

懐中電灯	防災用ヘルメット
軍手	タオル
カッターはさみ	緊急用品(絆創膏・消毒液など)
タオル	備用電源(モバイルバッテリー)
手ぬぐい	備用電源(モバイルバッテリー)
備用電源(モバイルバッテリー)	レインコート等
携帯用トイレ	モバイルバッテリー
マスク	タオル
など	

お手本で賞

第2回備えマスター！
さすがの備えです！

電気は大事で賞

キャンプ用品を
災害時に活用！

口粮ケアはバッテリーで賞

災害期間長を
防ぐために
口粮ケアアイテムは
必須です！

防災アクト

今年度は、能登半島地震を受け、今後 30 年の間に 70 から 80%の確率で発生すると予想されている南海トラフ地震が勤務時間外に発生した際、どのように参集するのかについて改めて考える「防災アクト」を実施しました。

実際に訓練することで、想定の中かでは思い浮かばなかった課題や疑問が見え、より具体的に災害発生時の参集をイメージすることができました。迅速に災害対応業務に取り組めるよう、課題や疑問について解決策を検討していきます。

○ 実施方法

- ① 各自で日程・時間を設定し、
参集方法・場所を検討
- ② 実際に地震が発生したと想定し
参集場所へ向かう
- ③ 実際にかかった時間や気づいた点を
メンバーで共有
- ④ 参集後に従事する災害対応業務や
上司、家族との連絡手段を検討

令和5年度 さかいで131おとめ隊 防災アクト


月 日	南海トラフ地震発生 ・震度6弱 ・津波が約2時間後に到達	どこで	だれと	なにをしている
時 分		平常時は？		
災害対策本部	すぐに参集する	参集にかかった時間・気づいた点	参集したら	まずはなにする？
参集場所・移動手段	→	↑	→	↑
参集にかかる時間	すぐに参集できない	すぐに参集できない理由は？	↑	↑
		参集するためにどうする？		

Check! ・坂出市地域防災計画
・坂出市地震発生時非常参集マニュアル

Check! ・アクションカード
・さかいで131カード

上司への連絡方法は？

家族の安否確認方法は？



気づいた点・感想など

- ・家が遠方のため、自転車や徒歩で参集するためには相当の体力が必要。
- ・非常用持ち出し袋について、玄関などのすぐに持ち出せる場所に置いておかないといざというときにすぐに持ち出すことができない。
- ・着替えや貴重品など、何が必要なのか考えていると家を出るまでに時間がかかる。
- ・普段通勤に使用している道も、浸水の危険や家屋の倒壊により通行ができなくなる可能性があるため、迂回していたら通常よりも時間がかかった。
→ 事前にハザードマップなどで安全な経路をいくつか確認しておく必要がある。
- ・参集時の移動手段として自転車を検討していたが、アパートの5階に駐輪しており、地震発生後は安全点検が終わるまではエレベーターを使用できないため自転車を利用することが困難。
- ・安否確認方法について、家族と事前に決めておく必要がある。
- ・携帯電話の操作が不慣れな家族の安否確認について、災害伝言ダイヤルの操作方法などを日頃から練習しておかなくてはならない。(カードなどにまとめておくと◎)

市広報掲載

5月号から3月号の「防災ははじめの一步」をおとめ隊にて担当しました。

家庭において、防災を日常に取り入れてもらえるような内容を情報発信しました。

防災ははじめの一步 vol.131 市危機管理課 ☎44-5023

情報を使いこなそう！

最近ではスマートフォンの普及により、インターネットでの情報取得がより身近なものになっています。しかしその情報は誰でも発信できるため、すべてが正しいものとは限りません。これからはただ情報を得るだけでなく、その情報を使いこなす能力が必要です。どの情報が正しいのか見極めることはとても難しいですが、すべてが正しいわけではないことを心に留めておきましょう。

特に災害時には、不確かな情報が多く出回ります。みんなが不安な状況なので、推測や誤解がさも本当のことのように伝わることもあります。不確かな情報に振り回されない、自分が広めてしまわないように注意しましょう。

誰かの力になりたいという気持ちの行動でも、間違った情報を流してしまうと、デマを広げることにつながります。場合によっては、被災者の不安を高めてしまったら、救助の遅れにつながりかねないということもあるので、注意が必要です。インターネットでの情報取得のメリットとデメリットを正しく理解した上で、防災に役立てましょう。



さかいで131おとめ隊 松岡 未祥(危機管理課)

防災ははじめの一步 vol.132 市危機管理課 ☎44-5023

災害時に役立つSNS！LINEやTwitterの活用法

いつも何気なく使っているLINEやTwitterなどのSNSは、上手に使えば災害時にも役立つ。災害時の便利な活用法をご紹介します。

自分に合った情報を収集する

自治体やライフライン関連のアカウントを事前にフォローしておく、1つのアプリでまとめて読めます。色々なウェブサイトから情報を収集するより便利です。

比較的つながりやすい

SNSのダイレクトメッセージ機能や、LINEなどのメッセージアプリを使うことで、電話回線の混雑を避けられます。

自分の安否情報を一斉発信する

LINEのグループトークで送信したり、アカウント名を一時的に「はな子 @無事です」と変更したりすると、複数人にまとめて発信でき、バッテリーの節約にもなります。

坂出市でもLINEやTwitterの市公式アカウントで災害情報を発信しています。いつも使っているSNSを活用し、災害に備えましょう。



さかいで131おとめ隊 山田 愛利(秘書広報課)

防災ははじめの一步 vol.133 市危機管理課 ☎44-5023

地震による二次災害に気を付けよう

地震によってもたらされる二次災害は被害を拡大させます。揺れによる直接的な二次災害(倒壊・道路や橋の損壊・液状化現象など)に対して、揺れをきっかけにして被害が連鎖的に発生することを二次災害と呼びます。

1. 火災 小さな揺れでも火の不始末や電気配線のショートなどで大規模に発生します。地震が発生したらまず身の安全を確保し、その後慌てずに使用中のガスや油を燃料とする器具、電気機器などのスイッチを切り、避難時にはブレーカーを落としましょう。
2. 津波 津波には、人命を奪う人的被害、船や住宅が破損する物的被害、田畑の冠水による間接的被害があります。
3. 地割れ 地震による強い揺れが原因で、地盤が弱いところや傾斜地、地表に亀裂が入ります。足や体をとらえて怪我をしたり、車ごととはまったりする可能性があります。
4. 液状化現象 地盤が緩いところで、建物が地面に沈んだり、道路のマンホールが浮き上がったりします。
5. ライフラインの遮断 生活に欠かせない電気・水道・ガス・電話などが停止します。それぞれの完全復旧までに時間がかかります。それぞれに備えておきましょう。



さかいで131おとめ隊 宮本 優子(監査委員事務局)

防災ははじめの一步 vol.134 市危機管理課 ☎44-5023

防災備蓄に野菜ジュースがおすすめ！

災害時に備えて非常食を準備しているかたも多いと思いますが、常温で保存できる野菜ジュースを防災備蓄に加えてみてはいかがでしょうか。

必要な栄養を補うことができます

災害時は食事が不規則になったり、防災食が続き栄養バランスが偏ったりします。不規則な食生活で野菜が不足しがちなときや食欲がないときに、野菜ジュースで手軽に栄養を補うことができます。

未開封なら常温保存が可能

野菜ジュースは開封前であれば常温で保存が可能です。紙パックやペットボトルタイプは賞味期限が数カ月ものも多く、長期保存用の缶タイプは5年半年保存可能なものもあります。普段から野菜ジュースをよく飲むかたであれば好みのものをローリングストックすることをお勧めします。

野菜ジュースでアルファ化米をおいしく食べよう

災害時、水が足りないときでも野菜ジュースでアルファ化米を戻すことができます。手軽に調理可能で味に変化がつくので食べやすくおすすめです。皆さんもいろいろチャレンジしてみてください。



さかいで131おとめ隊 田中 美純子(ふくし課)

防災ははじめの一步 vol.135 市危機管理課 ☎44-5023

赤ちゃんのために備えましょう！

9月1日は防災の日です！これを機に家庭や職場の備えを見直してみよう。今回は赤ちゃんがいる家庭で特別に備えておきたい防災グッズをご紹介します。

- おむつ おしりふき
- 粉ミルク+水 普段から飲み慣れているものが好ましいです。アレルギーがある場合は必ず用意しましょう。
- 液体ミルク 常温でも保存できるものでお湯を用意する必要がなく、便利です。
- 離乳食、おやつ 食べ慣れているものだと安心です。
- 好きなおもちゃ 避難所は日常と環境が変わりストレスも感じるので、少しでも安心するためのものを用意しましょう。
- 母子健康手帳 予防接種履歴など大切な記録がたくさんあるので必ず持ち歩きましょう。

坂出市の電子母子手帳アプリ「まろっ子メモリー」は、子どもの成長記録や予防接種履歴、災害情報などを確認できます。ぜひご登録ください。



さかいで131おとめ隊 小島 真衣(けんこう課)



防災ははじめの一步 vol.136 市危機管理課 ☎44-5023

災害時に人権を守るために

災害は誰にでも起こりうるものですが、その影響は個人によって異なります。特に高齢者や子ども、障がい者、外国人などの要配慮者や、女性の少数者などは災害時に人権が侵害されやすい傾向があります。そこで、防災を「人権を守るための備え」と捉えてみましょう。

- 非常用持ち出し袋や備蓄品を用意し、避難経路や避難所を確認するなかで、自分の特性や状況に応じた防災準備をしていくことが大切です。
- 防災訓練などの地域の防災活動に積極的に関わり協力し合うことで、災害時にお互いに助け合える関係性をつくりましょう。また地域の災害リスクを共有し、配慮が必要なかたのニーズを地域の防災活動に反映させていくことを意識しましょう。

- 防災関連の書籍やウェブサイトから情報収集したり、機会があればセミナーや研修などに参加したりしてみましょう。自分だけでなく配慮が必要なかたの立場や視点も理解し、より配慮のある防災行動を心がけましょう。



さかいで131おとめ隊 山田 知恵(人権課)

防災ははじめの一步 vol.137 市危機管理課 ☎44-5023

避難時に役立つ「マイ癒しグッズ」

避難生活は平常時とは異なる生活となるため、ストレスを感じる場合があります。心を守るための「マイ癒しグッズ」を備えておきましょう。

○甘いもの

エネルギー補給になるだけでなく、心身のリラックス効果があります。「日持ちする」「開けにくい」「開けにくい」をポイントに、自分の好きなお菓子を選んでみましょう。

○好きな人やものの写真

避難時には気持ちの余裕がないかもしれません。そんなとき、家族やペット、好きな場所の写真を見ることが気持ち落ち着くこともあります。

○香りグッズ

香りには、気持ちを穏やかにさせたり、明るくさせてくれたりする効果があります。大勢の人がいる避難所では、香水やお香りは使用できませんが、アロマオイルを1滴ハンカチに垂らしたり、好きな香りのハンドクリームを塗ったりして香りを楽しんでみるのもいいでしょう。

人によって癒しグッズは異なります。日常生活の中でリラックスできるものやリフレッシュする方法を思い出しながら、ぜひ防災グッズに取り入れてみてはいかがでしょうか。



さかいで131おとめ隊 古川 美穂(ふくし課)

防災ははじめの一步 vol.138 市危機管理課 ☎44-5023

衣類の準備をしていますか？

被災時の備えとして、衣類の準備をしていますか？

意外と手が回っていないことが多いのが衣類の備えです。一度用意してみると意外と量が多く、かさばることに気づくと思います。

津波や大雨などの水害被害に遭った場合、着ている衣服がぬれてしまうことがあります。また、他の災害でも、避難所に移動するときに雨が降っていれば服はぬれてしまいます。ぬれた衣類から乾いた衣服に着替えるのは、命を守るためにとても重要です。また、衣服がぬれていなくても同じものを着続けていると、肌がかぶれる、臭いが気になるといったトラブルを招く心配もあります。

衣類の備えは水や食料など違って、命に直結するものではないと思われがちですが、実はとても重要です。まだ備えていないかたは、ぜひ今から準備しておきましょう。



さかいで131おとめ隊 三枝 梨奈(市立病院庶務課)

防災はじめての一步 vol.139 市危機管理課 ☎44-5023

外出時のもしものに備える「防災ポーチ」

いつ災害が起きてもいいように、自宅に備蓄をしている人も多くはまず。しかし、もし外出先で災害に見舞われたら…。そんなときのために、普段持ち歩くバッグの中に防災ポーチを備えてみるのはいかがでしょうか。

災害用備蓄だからといって身構える必要はありません。普段持ち歩いているポーチの中にプラスαとして、災害時に役に立つようなものを入れてみましょう。

何をいれればいいのか？

- モバイルバッテリー ●ヘアゴム ●小銭 ●常備薬 ●お菓子類
- ウェットシート ●ミニライト ●救助笛や防犯ブザー など

暑い時期には汗拭きシート、寒い時期にはカイロなど季節に応じたものを加えましょう。女性は生理用品、お子さんがいるかたは暇つぶしになる折り紙やペンなども役立ちます。

時には中身を見直ししながら、自分らしい防災ポーチを作ってみましょう。それが防災への小さい一歩となります。



さかいで131おとめ隊
小野 詩織 (総務課)

防災はじめての一步 vol.140 市危機管理課 ☎44-5023

各家庭で最低3日分の備蓄をしましょう

先日能登半島において最大震度7の大きな地震が発生しましたが、世界で起こる地震のうち10分の1が日本で起こると言われるほど、日本は地震がとて多い国です。そのため常に地震の危険性があり、備えておく必要があります。その中でも阪出市において最大級に対策が必要なのが、「南海トラフ地震」です。皆さんも耳にしたことがあると思いますが、「南海トラフ地震」は今後30年以内に70～80%の確率で発生するといわれています。「南海トラフ地震」が最大クラスで起こった場合、阪出市では最大震度6強が予想されています。



「南海トラフ地震」に備えて、自宅の備蓄はできているでしょうか。各家庭で最低3日分を目安に備蓄をしましょう。市でも備蓄はしていますが、必要な時に必要なかたに物資が行き渡るためには、市民のかた一人一人が自宅に備蓄していることが重要です。まだのかたはぜひ用意してください。すでに備蓄はできているかたは、定期的の中身の見直しを行いましょう。

防災はじめての一步 vol.141 市危機管理課 ☎44-5023

緊急地震速報が鳴った！そのときあなたは？

安全行動1-2-3

地震が発生した時、被害を最小限に抑えるには、一人一人が慌てずに適切な行動をすることが極めて重要です。そのためには皆さんが地震について関心を持ち、日頃から地震が発生した時の正しい心構えを身に付けておくことが大切です。



緊急地震速報が鳴った時、どう動くかイメージできていますか？激しい揺れに襲われるまで、数秒の猶予しかないかもしれません。揺れている時に立ったままでは、転んでけがをしてしまうかもしれません。頭に何か落ちてきたら、無事でいられないかもしれません。

自分の身を守るためには、「まず低く」「頭を守り」「動かない」を実施することが大切です。「安全行動1-2-3」と覚え、実践してみましょう。平時にしていけないことは有事にはできません。自分がよく利用する場所ですぐ身を守れるかイメージしておき、短い時間で本当にその行動がとれるのか、実際に行動して確認しましょう。

各種団体における講演・取材

内閣府男女共同参画局「防災分野における女性の参画促進～好事例集～」

事例13 有志の女性職員たちが防災チームを結成し、市長公認で防災に女性の視点を入れる活動を実施！ 香川県坂出市

取組概要

- 危機管理課の女性職員が事務局となり、複数の課から有志で女性職員を集め、さかいで131(ぼうさい)おとめ隊を結成
- おとめ隊を活用し、市の避難所運営マニュアルを作成
- 令和4年に男性職員もメンバーとして参加できるよう、要綱を改正

取組のきっかけ 『女性職員の防災意識をより高めたい!』

当時、育休中だった危機管理課の女性職員が、東日本大震災での男性主導の避難所運営による困難や、固定的性別役割分担の問題、性被害の発生やそれらに対応する自治体職員のストレスなどを知り、危機感を抱いた。

女性職員が職場に復帰し、被災者であっても災害対応にあたる自治体職員、その中でも女性職員の災害時の困り事を少しでも軽減できるよう何かしたいと提案。

"女性の防災チームを作りたい"と上司に相談したところ、協力を得られる！ 他部署の管理職(女性)2名も賛同し、おとめ隊を発足。

女性だけでなく男性職員にも、女性の視点に立った防災やおとめ隊の活動を知ってもらい、職員全体の防災意識向上、また市全体の防災意識の向上を目指す！

香川県 坂出市 危機管理課 電話:0877-44-5023 <https://www.city.sakaide.lg.jp/soshiki/saikikanrika/otometai.html> 坂出市HP

事例13 香川県坂出市

2 市長の公認を得て、業務の一環として効率よく活動！

市長の公認団体

- 組織の最終目標を「市長に提案すること」として地域防災計画等に反映できるように、組織の設置要綱を作成した
- 年度末には、年間の活動を見える化し、活動報告書として提出する

活動の進め方

- 通常業務との両立ができるように、活動量が偏らぬように配慮し、担当を決めて個人で進められるようにしている
- 部署によって繁忙期が異なるため、4月に年間の活動スケジュールを共有し、それに合わせてメンバーも各自のスケジュールを調整する

市長の公認の団体として、勤務時間内に継続して活動できるようになった！

メンバー全員から市長・副市長に年間活動、中長期の目標や、来年度の目標について説明することで、活動内容に対して深い理解が得られている！

個々人の活動を無理のないものにすることで、メンバーの入れ替えがあっても継続的に活動できる！

通常業務とも両立できる！

事例13 香川県坂出市

1 かわいい・おしゃれ・楽しい！をキーワードに、多様なメンバーを募集！

メンバー募集のための防災ランチミーティング

- 職員組合の女性部に声をかけ、ランチミーティングを実施した
- ミーティング参加者の中から、おとめ隊の活動に興味がありそうな女性職員をメンバーに勧誘した

メンバーの人選

- 意思決定の場への参画を目指していたため、上司に説明できる人を候補とした
- 様々な部署(専門職、技術職を含む)から、年代や経験、業種が異なるよう声をかけ、居住場所やライフスタイルも様々な人を選出した
- 産休や部署異動による卒業の場合は、後任に声をかけたり、メンバーの知り合いから推薦したりして、毎年11名のメンバーを確保している

「防災」というテーマで多くの女性が集まることがわかり、チームの始動につなげた！ 防災に関心がある職員を発掘できた！

おとめちゃん！

メンバーの個々のコツを紹介！

市内の全職員をおとめ隊経験者に！

活動を通して、他の部署のメンバーと関わることで、そのつながりが通常業務でも活かしている！

毎年数人入れ替えながら11名のメンバーを確保したことで、おとめ隊の経験者は退職者を含めて40名となり、職員の女性の視点に立った防災意識の向上に繋がっている！

- 居宅介護支援事業者連絡会 (R5.5.11)
- RNC ラジオ「CHIT CHAT RADIO」(R6.2.27)
- 京町マンション自主防災会防災訓練 (R6.3.10)
- 香川県防災士会坂出宇多津ブロック総会 (R6.3.23)
- など



KBN いきいきワイド (R5.9.1 放送)

綾川町男女共同参画会議講演会 (R6.2.18)



4. 成果・課題等

今年度の大きな成果としては、防災フェスタにおいて体験型の防災ゲームを実施したことでした。昨年度実施時よりもたくさんの市民のかたにご参加いただき、「参加してよかった」「家族で防災について考える良いきっかけになった」というような感想をいただくなど、大きな達成感を味わうことができました。内容も大変充実したものとなっており、より多くのかたに体験してもらうため、改善をしながら今後も継続して実施していきたいと考えています。

また、これまでに引き続き、職員研修に重点を置き取り組み、新規採用職員研修や避難所担当職員研修を実施し、研修後のアンケートでも多くの学びがあったと好評を得ています。

おとめ隊の活動も11年目を迎え、活動の幅が広がっているのを感じていますが、通常業務の負担にならないよう調整しながら、メンバー自身も「防災」に関する知識を深め、おとめ隊だからこそできる研修や啓発活動を効率よく行えるよう体制を整備していきたいと考えております。

5. 来年度の目標

今後も「日常生活に防災を取り入れる」ことを念頭に、職員や市民に対して啓発活動を継続して行っていきます。また、継続して実施していることに加え、自分たちが必要なこと、やりたいことを考え、実施まで行うことにより、より充実した活動にしていきたいと思えます。

- ・避難所運営マニュアルの普及啓発
- ・職員、市民への啓発活動（さかいで131カード、131 CHECK LISTの普及）
- ・防災フェスタ「おとめ隊からの挑戦状！」の実施